

10年後のあなた、この街で笑っていますか？
介護サービスが「ない」から始まる、
私たちの未来デザイン

ないなら作っちゃえ、インフォーマルサービス

～滋賀県東近江市と北海道胆振のあの町の実践から、これからの「我が事」を考える～

「地域包括ケアシステム」…どこか他人ごとにしてしまうこの言葉。しかし、既存の介護サービスだけでは対応困難な地域課題が増え続ける今、私たち自身の未来の暮らしにとっても、きわめてヒリヒリした切実なテーマです。

「もし将来、介護サービスがなくても、私はこの街で自分らしく暮らせているだろうか？」

本研修では、単なる成功事例の紹介にとどまらず、苦労や失敗、現在進行形の課題をありのままに共有し、関係各位、（包括、行政、ケアマネ、生活支援コーディネーター）が力を合わせて、どう新しいインフォーマルケアを作り出していくかを「我が事」として考えます。

西胆振（室蘭）会場

9月29日（火）13:30～16:00（開場13:00）

室蘭市民会館1階 リハーサル室

（室蘭市輪西町2丁目5-1）

【重要】当会場は土足厳禁です。内履き（スリッパ等）をご持参ください。

東胆振（苫小牧）会場

9月30日（水）10:00～12:30（開場9:40）

苫小牧市文化ホール ルーム5

（苫小牧市旭町3丁目2-2）

【重要】駐車場：館内受付にてサービス券を発券して下さい

基調講演



楠神渉氏 (Wataru Kusakami)

滋賀県東近江市 主任介護支援専門員

滋賀県介護支援専門員協会 会長

NPOしみんくすの家八日市 理事長

「制度で対応困難な課題に対し、誰とどう作りだせばいいのか、ともに探求しましょう。」

- ・困りごとを解決する資源開発
- ・買い物や通院、地域の催しへの参加
- ・軽度認知症の方の就労機会
- ・介護保険利用前の健康づくり
- ・多国籍の子供のつながりの場
- ・人見知り克服中学生参加カフェ

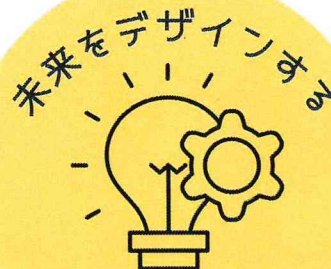
地元実践報告



安平町・厚真町の実践報告 震災を乗り越え、限られた資源（制約）の中で芽吹いた「希望の種」

- ・お野菜プロジェクト
- ・胡蝶蘭里親プロジェクト
- ・農園ボランティア
- ・オレンジフラワープロジェクト
- ・TVチャンネル開局
- ・じじカフェ&ばばカフェ
- ・他

ワークショップ



「こんな街で暮らしたい」というアイデア出し

「あの町の実践」を共有し、自分たちの足元でも実現できるという勇気とヒントを得る。

- ・多職種・行政職員
- ・ハイブリッド（会場・オンライン）
- ・小グループ（ブレイクアウトセッション）

参加申し込み方法

参加費：無料

本研修会は、地域を超えたつながりのため「会場参加」または「オンライン参加（Zoom配信）」のいずれかをご選択いただけます。右のQRコードよりWEBフォームにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。

●会場参加（室蘭・苫小牧）●オンライン参加（Zoom）

締め切り：令和8年9月15日

スマホ・PCから
24時間WEB申込
※右記コードを読み取るだけ

【連絡先】

胆振地区介護支援専門員研修実行委員会

会長 今野(イマノ) るみ

TEL：080-4725-1999

ruminoske4@outlook.jp

